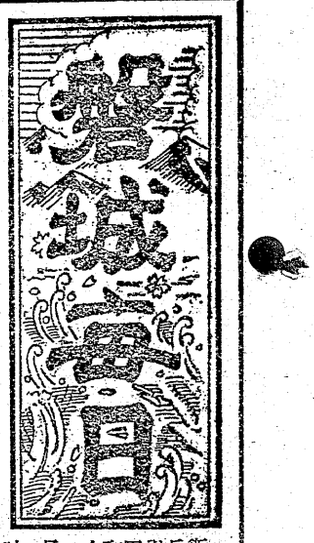
【日刊・月曜休刊】　昭和25年(1950) 10月4日（水曜日）第113号　磐城毎日新聞　昭和25年7月6日第三種郵便物認可　(一)



磐城毎日新聞
簡兵與田和大　町南市平縣島福　社　長
倫孝藤遠　刷人　印兼行　所　磐城新聞社
番〇一二一(平)　話電　編發株會式社集兼行發

松本氏(原ノ町)出馬確實

教組は高木氏を推さん

學選委教

縣選擧管理委員會で括弧内は舊勤務先は教育委員選擧に關し二日縣廳に於て監督官鈴木勇次郎(平)富岡監督署勤務え
して二回縣廳に於て監督署勤務え
委員會を開きいし選擧の告示は十月十一日とし選擧日は十一月十日と決定した、この決定の發表によつて種々取沙汰されていた立候補者の顔振れも表面に浮び出す譯けであるが濱通り地區で既に噂にのぼつているのは原の町々會議長松本欽一氏と石城地方の教組をバックとする小名濱第一小學校長高木長年氏等であるが、高木氏は教組を中心として熱心な多數の支持者がある、當人は全然立候補の意志なきものと見られ松本氏は既に立候補すべく資格審査を提出濟みで自由黨の公認も內定していると傳えられ保守派から松本氏が出馬する事は確實視されている

平勞基署異動

平勞働基準監督署人事移動皇太后陛下は宮城、岩手兩縣の蠶絲關係御視察のため四日常磐線で通過される、平驛通過は四日午後二時四分着、同十分發で平驛に六分間停車する、この日平市では鈴木市長初め市會議員公職者、等學校の前身、磐女校長として赴任し婦德の養成に努力したる各出先機關所長、其の當時より或種の事情から知已たるを許され、爾來三十有余年一日の如く四時の季節を迎うる毎に必らず沿線警護に遺憾のない樣にと三日から警護準備を整えている

募金成績良好

平市の共同募金街頭募集は既報の如くすべり出しが頗る良好で第三日目の二日には第二中の生徒六十名出動し募金に當つたが、當日の募金成績は一万八千百二十二円餘で二日現在總計五万五千七百三十三円に達した

當籤十万圓に惱む

早くも寄附やなぞ攻め

平市戰災復興寶籤一等十万円當籤の幸運者泉村大字本谷字仲の內五六農阿部豊後さん、下が豊後さん＝

石城地方部失業對策事業第三四半期就勞ワクの擴大については失業對策部會石城支部及び各市町村代表らの縣及び中央に對する積極的な陳情交涉等がむくいられ一日附で平職安所管內に二百五十名の增ワクになつた旨縣當局から通達あり關係者を喜ばしている、現在までの就勞ワクは管內で一千五百廿名、國庫負擔三、四半期はこん度の增加で一千七百七十名となり現在十日ねぎ(小束)

小名浜通信

大正の晩年縣立磐城女子高等學校の前身、磐女校長として赴任し婦德の養成に努力したる各出先機關所長、其の當時より或種の事情から知已たるを許され、爾來三十有余年一日の如く四時の季節を迎うる毎に必らず沿線警護に遺憾のない樣にと三日から警護準備を整えている

過通お下陛后太皇

路途の察視業事糸蠶
迎奉に頭驛す為民市

皇太后陛下は宮城、岩手兩縣の蠶絲關係御視察のため四日常磐線で通過される、平驛通過は四日午後二時四分着、同十分發で平驛に六分間停車する、この日平市では鈴木市長初め市會議員公職者、等學校長各出先機關所長、大正の晩年縣立磐城女子高等學校の前身、磐女校長として赴任し婦德の養成に努力したる各學校長と照會する事は決して徒事でなかつた非常に感激を深からしむるものあるので磐城の天地に幾多の動御多忙のため御面會の榮を得られませんでした事は殘念でした、倉敷レーヨン會社工場建設のことはどうなりましたか、金融難時代が其の後に來ましたのでどうかと氣がかりなのですが、あの時賜はつた御近詠のうち福島雜吟、福島市所見、稻荷社頭などを拜誦し昔十六日から廿八日まで各町村別に生活保護事務の監査を實施し平市に對し組合加入方の申入れをする事となつた尙一日から開院豫定であつた共立病院は註文濟みの諸機械類が輸送の關係で未着の爲め目下のところ開院日は延期されている

自轉車盜まる

內鄕町大字高坂野菜商春日孝(二七)さんは二日午前十一時ころ市內大工町丸共青果市場で荷さばき中同市場入口附きんに置いた運搬自轉車一台(中古品)を盜まれ市內各所を捜索中だが、下が豊後さん＝

共立病院委員會開く

磐城共立病院の設立準備委員會は本日午後二時より地方事務所に於て開き、病院組合に平市の加入方を要望する問題について郡部側署え届出た

秀明君赤痢

最近漸く下火となつて市民に安心させてゐたところ市內六間門二〇眞木秀明(七)ちやんは一日發病したが二日南町眞木醫師の診斷により赤痢と判明した

生活保護取扱事務監査

石城地方事務所又所では來る六日から廿八日まで各町村別に生活保護事務の監査を實施して要保護者の發見連絡と扶養能力調査並に初診券の交付、生活指導につき万全を圖る事になつた

鐵鎌農業機械化へ

篤農家合同して實演會

石城地方事務所では土地改良事務所と協さいで管內各市町村の協力を求め來る十日植田町東田地內に於て管內各篤農家による麥きく体驗發表會及び自動耕うん機トラクターなどの實演會をもよほす、目的は從來のくわ、鎌農業經營を排し機械動力の利用による合理的な農業經營へ切りかえ增產及び農業危機突破にあり主さい者側では廣く一般農業の參加を要望している

商狀、經濟欄

商況—入荷多く保合

【鮮魚】三日現在卸値(單位貫)
かつを　三〇〇—二八〇円
かれい　二二〇—二〇〇円
かながしら　二二〇—二〇〇円
まこ　三五〇—五〇〇円
ひいら　一五〇円
ほうぼう　二二〇—二〇〇円
どんこ　九〇—八〇円
さつまあげ　二五〇円

【青果市況】丸サ市場
なす　四〇—三〇円
きうり　一〇〇—七〇円
(一二—八円

市況—入價少く活潑

【株式市況】磐城證券三日前場
昨日に引續き活氣のない取引であつて一、二方下押すもの多く出來高概算は五〇万株と相變らず閑散を極めている、金詰りが相場を無感應させているのである
鋼管　函　呉羽化　—

積極的要求容れて

二百五十名就勞增加

石城方部失業對策事業第三四半期就勞ワクの擴大については失業對策部會石城支部及び各市町村代表らの縣及び中央に對する積極的な陳情交涉等がむくいられ一日附で平職安所管內に二百五十名の增ワクになつた旨縣當局から通達あり關係者を喜ばしている、現在までの就勞ワクは管內で一千五百廿名、國庫負擔三、四半期はこん度の增加で一千七百七十名となり現在十日ねぎ(小束)

社告

由來新聞は事業中の難事業と唱えられ來たものを聊か企業的合理化によつて、發刊以來いまだ半歲にならないわが社は「鄕土紙」としての特色と「讀者の新聞」として其の使命を發揮しつゝあります、故に社業はいよいよ躍進の緒につき發行部數の增加に伴い眞實を傳える新聞製作を痛感し編集の刷新改善と相俟つて「夕刊紙」に切換え、ニュースの速報に邁進せんとする一面、一方的作意の論斷を許さず建設的に努力せんとするものであります、而して今度社屋二階建を市內十五丁目十二番地に突貫工事をして來月中旬までには完成するの豫定であります只今新聞週間の時に此のことを發表し公共性の新聞達成に大方皆樣方の御援助御支援の程を切望する次第であります

十月三日　社長　大和田與兵衛

社

毎日新聞は事業中の難事業と唱えられ來たものを聊か企業的合理化によつて、發刊以來いまだ半歲にならないわが社は「鄕土紙」としての特色と「讀者の新聞」として其の使命を發揮しつゝあります、故に社業はいよいよ躍進の緒につき發行部數の增加に伴い眞實を傳える新聞製作を痛感し編集の刷新改善と相俟つて「夕刊紙」に切換え、ニュースの速報に邁進せんとする一面、一方的作意の論斷を許さず建設的に努力せんとするものであります、而して今度社屋二階建を市內十五丁目十二番地に突貫工事をして來月中旬までには完成するの豫定であります只今新聞週間の時に此のことを發表し公共性の新聞達成に大方皆樣方の御援助御支援の程を切望する次第であります

十月三日　社長　大和田與兵衛

土木建築設計請負
磐城土建工業株式會社
社長　強口唯七郎
平市小太郎町
電話弐・二六三・一〇三四番

小名濱港水揚

二日現在六千七百貫

はも	五二〇貫	東洋紡	二三
たこ	三二〇〃	苫小牧	一六三
平めまこ	一二五〇〃	鐘紡	三六
きんはも	八〇〇〃	十條紙	一五五
ほうぼう	一九〇〃	日清紡	二五一
むし	一五〇〃	本州紙	一三三
かすべ	二五〇〃	呉羽紡	二九
ちほ	一〇〇〃	日セメ	七七
あぢ	四二〇〃	磐城セ	—
さば	三〇〇〃	日東紡	一六
ます	二八〇〃	片倉	天
かつを	八〇〇〃	小野田	一三
ぶり	二七〇〃	帝人	一五五
小平め	四八〇〃	不動新	三三
小かつを	四〇〇〃	東洋レ	一三三
	二〇〇〃	陽和不	三〇〇
		新光レ	一六〇
		開東不	—
		山バル	一六〇
		三越	三九〇
		東海上	三〇三
		日麥酒	三〇〇
		朝麥酒	一六四
		新郵船	一六四
		三井船	一九一
		キリン	二〇五
		日發	二四
		寶酒造	二四
		三井山	四三
		野田醬	三五五
		日石	七六
		豊年油	一〇
		三井造	一五五
		高壓	四八
		日立三・五	五五
		日産化	五五
		東北パ	一九〇
		日活	一三

季節の味
ウドンの加工は
是非當店へ
永島製粉工場
平市杉野澤
電話一〇九四番

院分院醫院吹矢
成圭堂醫院
平市　田鎌　電1295話
科科科科
腸兒
胃內小

今ならばお安い
秋冬物の御用意は
婦人セーター・シヨール
子供服　毛糸
セーラー服・學童服
洋服地
ボストンバツク
革鞄・手提
新入荷商品
洋品のやまと
平市三丁目　デンワ1130

小型カメラに依る近代的寫眞は
美しい自然のポーズをよくキヤツチして料金も非常に廉價にサービスいたしておりますゆえ…
お寫眞の御用の節は御相談下さい
(夜間も撮影いたしております)
平四・本局前　金太郎寫眞部

泌尿器科　平市南町(公會堂通)
外科　眞木醫院
性病科
電話一一九五番

外科　整形外科　性病科　皮膚科　肛門科
松村亨
內科　胃腸科科　呼吸器科　放射線科
松村鐵郎
腸胃
平市南町電一〇七
松村醫院

寿の玩具部
近日新設のため
女店員さん急募!!!
平市在住履歴書持參面會十月五日二階事務室
平驛前
壽百貨店
電六五六

昭和25年(1950)10月4日　(日曜水)　第113号　磐城毎日新聞社　(二)　可謬物便郵種三第　一部賣頒　二円　月々1ヶ50円　定便1ヶ月

犯罪防止へ業者協力

銅線回収に組合側自肅

平市内大町八廢品問屋並井しても一日の出面賃位には商え捨て値で賣り飛してる事實は各地に古物商人が好三、仲町武藤一義さんからる事實は各地に古物商人が同業者七名が集り廿七日ほう金、鉛等の盜難事件が檢擧されてるので各地で銅、懇談會を開き銅の値上りに續出してるる實例からしてもはつきりしてるる、業伴い最近頻發する電線及電者が犯罪防止えきよう力す話線などの盜難、激增は警察當局の捜査も尻目に次々と行われている現況にあり、その直接廢品の集荷に當つている同業者の中にはこれが仲買等によりかいつて不利な立場に置かれているものもあるのでこの機會にこれら犯罪の防止に積極的な協力をしようと言ふことになり市内各業者に其の協力することを協議した

機を得た策

古物商の協力は朝鮮動乱から銅、鐵屑の値上りを見て廢品の回收は目立つて來た、河床を堀り返ろ湯本町署に逮捕された

磐崎村の衣類窃盜

湯本署スピード檢擧

双葉郡大野村生れ住所不定無職前科一犯八卷正直(四八)は一日午前二時ころ石城郡磐崎村大字藤原農千葉クサイ(三三)さん方裏窓から侵入紋付羽織など衣類十八點、時價一万九千円相當を盜み磐崎村大字藤原農千葉クサ菊地茂男、三等渡邊一男、C組一等小松谷實、二等星源吾、三等白土東一の各氏で前田利雄氏が三かい連續優勝のカップを獲得した

燒いかの販賣禁止さる

平保健所では一日から街頭や野外の人混みで販賣してる燒いかの販賣を禁止することになつた、尚キンツバ燒の販賣については届出をしなくてはならなくなつた

新機械設備

白榮舍サービス

平市田町白榮舍ランドリーでは營業の機械化に設備の充實えと努力し、クリーニグサービスに留意されているが此の程縣下に魁けて最新式和服整理機を購入した、この機械の特長は乾燥のとき和服生地をいためずに仕上が出來、從來いやがられて居た交織生地でも簡五日午前十時半から石炭會

競輪開催日決定

役員も昨日協議會で

平市營競輪運營協議會は會開かれた第三回炭礦親善相長鈴木辰三郎(市長)副會長撲大會は阿部治英(市助役)石山一治炭礦八チ(市議)永野孝夫(振興會)の四氏が正副會長に決定、顧問に關内代議士外十名、委員に市會議員中より金古議長外十三名、學識經驗者として諸橋商工會議所會頭外二十三名、幹事に山野邊市庶務課長外四名をこの程委囑し二日午後二時より市會議事堂に於て第一會運營委員會を開催、協議の結果次の通り決定したが一般から最も關心を持たれていた第一回競輪開催は十二月十七日より六日間と確定した

一、運營協議會規定の審議(原あん通り決定)

二、開催執務委員(原あん通り決定)

三、開きい日の決定(十二月十七、十八、十九、廿二、廿三、廿四日の六日間と決定)

四、常任委員會の構成に就て(委員數は十名程度とし人選は市當局に一任)

對抗相撲古河好間鑛優勝

一日常磐炭礦湯本相撲場で成績はA組優勝前田利雄、二等鈴木義雄、三等鈴木重C組一等小松谷實、二等星源吾、三等白土東一の各氏で前田利雄氏が三かい連續優勝のカップを獲得した

前田氏三回連續優勝

平將棋大會

平將棋娯樂會八十四回大會

出生

廿四日平市長橋町井幡忠夫氏次男明さん

廿八日伊達郡桑折町高橋清一(三七)氏平市長橋町八卷ひで子(二八)さん

婚姻

△廿一日同月見町野木武一

犯罪増加に町民の輿論振起

最きんの小名濱町には暴力犯罪と婦女子えの暴行事件の増加して町警察當局も躍起となつてこれが檢擧に努めているが、相次ぐ暴行事件の發生を見せて居り甚だしいのは少年の風紀問題も取りあげられて居る、これ等は警察力にのみ依存するため各種の機關を動員をして風紀の善導と犯罪防止に乘り出す一方婦女子においても危難からさけるやうに日頃の注意力と訓練をすべきであらうと有識者間に叫ばれている

雇人船具を窃盜してあがる

江名町北町漁業坂本義信(五ろ江名署に逮捕された

時價百万圓の巨杉

永戸村から平へ搬入

一本百万円の巨木が此のほど平市大町三木材販賣業佐々木茂樹さんの空地に搬出され道ゆく人々に驚異の眼を引ている、この大老杉は石城郡永戸村字下永井辯財天境内にあつたもの、樹齢八百年と推定され根廻り二十二尺四寸五寸のところまで二十一間と云ふまさに天を突く代物、一本の石數ざつと二百石を二十万円で手に入れたが伐倒搬出から製材するまでの經費を加算すると捨て値で賣つても百萬圓はくだるまいと言はれている‖(寫眞老杉の立木を伐倒したところ)‖

炭鑛親善野球主將會議

平石炭事務所体育連盟では務所で第三回炭鑛親善野球大會の主將會議を行ふ、尚十一月には弓道、十二月には卓球の親善大會を催す豫定となつている

三輪車増加

運賃高からか

小名濱町内では最近小型三輪車が激増している、これ等は何れも貨物自動車の運賃高から自家運搬えの轉換を計りつゝあるもので今後

幼兒鮫川に落ちて絶命

川部村大字沼部字鹿野農鈴木榮三女美代子(二)は三十日午後二時半ころ自宅前鮫川に轉落水死した

使用人悪事

江名町走出海産物加工業大峯福次郎(四九)方雇人埼玉縣川口市一丁目加工夫淺倉廣保(三三)は雇主のニワトリ一羽及び加工場から油揚など時價一千圓相當を盜み一日午後十時ころ江名町署に逮捕された

文藝欄

「讀書」

新しき項をめくる嬉しさも忘れし如しただ生きてあり

×

我武沙羅に本讀みたりし若き日の新鮮なこころ今はなけれど

×

十八の年讀みたりし本ならむ奥書の文字もなつかしきかな

×

讀んでみたしと思う本幾冊か並べる本屋朝毎に通りぬ

「繪」

二年ほど通ひし夜のアトリエの友など今はいかにあるらむ

×

ストーブも無きアトリエに裸体もて立てる少女よかなしくもあるか

×

勸め終えてアトリエ迄の道のりの凍てし舖道も心おどりぬ

×

働きて疲れし指にもつ筆の痛さに耐えてなほも描きにし(安里待巢)

スターシステムの悲劇

日本の映畫觀客の大宗を占める處のミーチヤンハーチヤンの映畫觀賞は人氣スターの位置は依然として磐石であろう

今日どんな映畫をとるにも人氣スターを二、三人主役に立てないでは興行收益が望めない

藤本プロのニューフエイス島崎雪子が「夜のひ牡丹」の主役を轟夕起子にさらはれて悲觀のあまり家出したと云つた極く低い觀賞低度保證されないという事は映畫界とても同じことであるが多いのである、其處畫藝術の向上に最も大きな力何故ならば映畫製作費の相當大きな割合を之等人氣スターに支拂はなければならないからである數千万円の社として危險なニューフエイスを出すよりも人氣スターを主役にすれば興業收益は安全である、堅實經營はる勇氣を製作者に持たせるのはミーチヤンハーチヤンの奮發にかかつているのである、スターフエイスに賴つてのみ之等の愚劣なるスターシステムを打破して日本映畫を質的に向上させる事が出來るのである(K)

本紙の創刊以來茲に約五ケ月、号を重ねる事一一三号にして創刊當時からの理想であつた夕刊發行の運びに到着した事は讀者各位と共に喜びに堪えない次第であります。夕刊發行の宣言と同時に本欄メガホンが生れました、併しこれは選擧運動の際の街頭等に於ける宣傳用の道具ではありません、この「メガホン」から何にか飛び出すことやら……有名無名の方々のツヤダネやら思い切つた惡口なども飛ぶかも知れません皆さんこの「メガホン」のタネにならぬ樣ご用心を願います

きつとお氣に召す！
當店獨特のドライクリーニング
完全殺菌・高級洗劑使用　お急ぎの品は超スピードで
白榮舍ランドリー　名社合會
平市田町　電話661番

サンキュー三九三休さん！
サンキューありがとう！
佐々木商店
(食料品　雜貨　藥品)
平市鍛冶町　電話503番(呼)

安くてうまい
中華そば
和食・洋食
折詰
出前迅速
平会館　三丁目　電六二四

服洋文註の冬秋
洋服仕立最高技術
最高級品……安値
本年流行の生地……
茶、立縞、グリーン立縞、紺無地
茶、ネズミの無地、斜織オーバ地
平市二丁目紅小路
渡邊洋服店
電話九五七番

平駅前
伊東肉店
電話一〇二二番

平自慢
パンと洋菓子
BAKERY
TOKYO-P6
TAIRA TEL-1108

大衆食堂
汽車の御待合せ
御買物の御歸りに
御氣輕に御利用下さい
そろそろ熱カンの季節です。左黨の方は御座敷風食堂で一杯いかが!!
さかえ
平駅前東角

ラジオ聽視室

JOCP ローカル郡山 JOHQ

4日

(三日十一時半現在)

三日の晩は北の風曇時々晴四日は北東の風初め雲が多いですが日中は晴、時々曇の天氣でせう、明日は北西の風晴たり曇たりの見込です海上は引續きお穩かです